

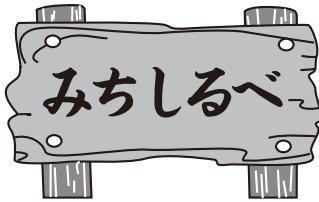
木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成28年8月号 No.111

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



「消費増税延期 業界は3年の猶予の時間をどう活かすか？」

名古屋木材組合
組合長 西 垣 洋 一

現在世界では、欧州での英国のEU離脱、格差、難民、テロの問題、米国でのTPP（環太平洋経済連携協定）批准に向けての慎重姿勢など、東西冷戦終結後のグローバル化という大きな流れに対して、保護主義や大衆迎合（ポピュリズム）の台頭など反グローバル化のうねりが押し寄せています。この動きは、今後グローバル化の恩恵を受ける日本にも様々な形で影響を及ぼすものと思います。

こうした中、国内では8%から10%への消費増税が、世界経済の下振れリスク、不確実性の高まり、増税実施による個人消費の腰折れなどによるデフレ脱却への危惧などを理由に、2019年10月へと延期になりました。増税延期は、財政の健全化の観点から是非は意見が分かれるものの、アベノミクスを加速させ、デフレ脱却を確実なものとするに力点が置かれました。

業界にとって今回の消費増税延期は、木材需要の柱である新設住宅の駆け込み需要はなくなるものの需要の急激な増減が抑えられ、又当面は① マイナス金利政策、② 人手不足による建物価格・地価の先高感 ③ 3年後には消費増税が控えているという心理的要因により堅調に推移することが予想されることにより、好意的に受け取る向きが多いように思います。

しかしながら見方を変えれば増税延期の3年という時間は、増税後に予想されていた新設住宅市場の劇的な落ち込みが先送りされたに過ぎません。木材業界も2020年に向けて、国策に裏打ちされた変革、大きな環境変化の荒波にさらされています。この3年の時間をどう活かすかが、その後の業界の発展、成長に大きな意味を持つのではないかと思います。

幸いにも地球温暖化、環境問題の意識の高まりにより再生可能な資源として木材の有効利用が認知されつつあります。又、非住宅分野などでの木造化・木質化の普及に向け、技術面・政策面の後押しもできつつあります。与えられた3年の猶予の時間は、この大きな時代の流れを確かなものとする時間ではないかと思います。「ウッドファースト社会」の実現という大きな目標に向け、各々が各自の分野で「切磋琢磨」し合うことが実現への道ではないかと思います。

余談ではありますが『切磋琢磨』の出典は、中国最古の詩集『詩経』の「衛風（えいふう）・淇奥（きおく）」によるものです。「切」は骨や象牙を切ることで「磋」はそれらを研ぐこと。「琢」は玉や石を打ち叩くことで、「磨」は磨くことの意味です。『詩経』では、この語を「切するが如く磋するが如く、琢するが如く磨するが如く」と細工師の技工や完成した細工品に喩え「衛の武公」をたたえたことから、「切磋琢磨」は学問や精神・人格を磨き、向上することを意味するようになったと言われているそうです。

◆ 合縁木縁 ◆

◆ 自遊ご異見番 ◆

「オバマ大統領・広島訪問に思うこと」

私は、このお話をいただきまして、2016年の上半期を振り返って見ました。アメリカの大統領選挙、芸能スキャンダル、イチロー選手の4000本安打、増税の先送り、イギリスのEU離脱など大きな出来事がありました。その中で真っ先に頭に浮かんだ出来事が、オバマ大統領の広島訪問でした。私は今年、43歳になりますが、祖父が明治36年生まれ、祖母が明治42年生まれ、父が昭和12年生まれ、母が昭和15年生まれで、その時代の人の環境の中で教育を受けて来ました。私は、ニュースでオバマ大統領が慰霊碑に献花されて、被爆者の方と言葉を交わされている姿を見まして、祖父母や両親が私に対して、昔の話をした時によく言っていた事をふと思い出しました。それは、(あなたはこの時代に生まれなくて良かったね。)、(とにかく何も無い時だった。))との話をよく聞いた事を思い出しました。私は、この話を思い出す時にいつも思うことは、日々の生活の中であたりまえと思って、行動している自分があることを思い起こされ、物を大切にすること、感謝の気持ちが薄れてしまっている事など、時として反省させられます。

その一方で技術の進化は早いと思いました。今の住宅は昔と比べて考えられないほど機能的になっていると思います。耐震基準の向上、高气密、高断熱、太陽光、エコキュートなどの省エネ設備の向上など、一昔前では考えていなかった住宅があたりまえになってきていると思います。私が思う事としましては、確かに機能的で快適な住宅だと思えますが、残念なことに従来の木の文化が少しずつ無くなっているように感じられます。本来の木の性質の良さ、天然素材の安らぎが二の次になっていると思えます。私の考えの中では、生活環境という大きな枠組みの中では、心の充実が一番に大切かと思えます。その中で木の文化が果たせる役割ことは多いと思えます。この先、住宅着工数は減っていくと予想され、木材業界は更に厳しくなっていくと言われておりますが、天然素材である木材の良いところ、悪いところを精査した上で、木の文化を大勢の人に知ってもらい、興味を持ってもらう事が大切かと思いました。

今回は、ナイス(株)中部木材部 小牧営業所リーダー 宇都宮靖央氏にお願いします。

「いまどきの図書館」

私は愛知県小牧市に在住していますが、昨年、老朽化した図書館の建て替えを巡って住民投票まで発展する騒動が起きました。ご存知の方もおられると思いますが、市長が推進するレンタル大手の「TSYTAYA」に市立図書館の建設から運営を委ねるという計画に対して是非を問うものでした。結果は建設反対が過半数を占め、白紙撤回となりました。新図書館建設については現在検討中とのことですが、今の図書館は非常に趣があり、市民に親しまれていることから現建物を改修して使い続けてはどうかという意見も出ているそうです。

私がこの図書館を良く利用するようになった切っ掛けは、本の閲覧や貸し出しではなく、図書館内にある学習室の利用からです。今から30年以上前、高校3年生の夏、一応大学受験を控えて受験勉強をしなければと意志は働くのですが、自宅内には色々と誘惑が多く、集中を持続させるには困難な状況でした。そんな時、友人の一言「図書館の学習室は冷房が効いて快適だ」を信じ、いざ図書館へ。なるほど学習室へ一歩踏み入ると冷え過ぎず適度に冷房が効いており、静まり返った部屋から聞こえてくる音は鉛筆がノートを走る「カリカリ」と言う音だけでした。周りに感化されやすい自分としてはここで勉強すれば能率が上がると思込み、翌日からは開館と同時に入室し、朝から晩まで図書館で過ごすという夏休みを過ごしました。受験時以降は学習室を利用する事は無くなりましたが、図書館自体が私には居心地の良い空間となり、休日に時間があると図書館を訪れます。

現在では、本の貸し出しや読みたい本の検索はコンピューターで管理されており、新刊情報、障がいのある方へのサービス、ビジネス支援などは様々な情報がホームページで紹介されています。また、映画デーや児童向けの読み聞かせ会などの催し物も企画されており、子どもから大人まで幅広い年齢層に図書館が利用されています。更にはありがたい事に閉館時間が夜8時30分であることから仕事帰りのサラリーマンにも利用されています。私個人としては仕事帰りに立ち寄って、閉館間際の人もまばらになった館内を特別の目的もなく、本の背表紙を眺めて歩く時間がとても好きで心地よいです。

皆さんも地元の図書館でゆっくりした時間を過ごされてはいかがでしょう。ある意味図書館はリフレッシュできる空間になると思います。

お知らせ

☆☆☆ 平成28年度 全国労働衛生週間について ☆☆☆

本年も全国労働衛生週間が9月1日～30日までを準備期間、10月1日～7日までを本週間として全国的に展開されます。

今年は、業務によるストレス等の精神障害の発症対策や過重労働対策、化学物質等による健康障害対策などが呼びかけられております。

津島労働基準監督署管内では、週間活動に先立って説明会が実施されますので、参加ご希望の方は、名古屋港木材産業協同組合 事務局 (TEL 0567-57-2017) まで8月25日 (木) までご連絡ください。

説明会内容

- (1) [過労死等の防止対策推進法と監督指導の強化]
- (2) 全国労働衛生週間実施要項等の説明
- (3) 特別講演 [社員の健康は会社の活力！会社の宝！—元気の職場は健康作りから—]
講師 アキタコーポレーション(株) 中村 貞次氏

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

トラックのバッテリーが狙われています!!

バッテリー盗難の実態

- ・本年、トラック等バッテリーが外部から見える位置に取り付けられている車の被害が増加傾向にあります。
- ・被害は、運送業者、建設業者、ヤードの敷地内で多発しています。

(被害に遭わないために)

- 会社敷地内や駐車場には防犯カメラ、センサーライト、警告看板等を設置することによって、関係者以外が立入らないようにすることが効果的です。

◆ 広告コーナー

新型 **GENEO 誕生!**



トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港(営) TEL:0567-55-0722
 小牧(営) TEL:0568-77-5365
 高山(営) TEL:0577-33-4020

《森林資源の充実と間伐材の有効活用も支援しています》

一般港湾運送事業・倉庫業・通関業・チップ生産
 ゴルフ練習場・いかだ運送事業・検量事業

名古屋港木材倉庫株式会社

代表取締役社長 野間 順一

〒457-0836
 名古屋市南区加福本通2丁目1番地
 ☎(052)611-0311

《西部木材港事務所》

〒490-1447
 海部郡飛島村西浜8
 ☎(0567)55-0301

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 嶺木昌行
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会